



攻めと守りの質問

## ローカルジャーナリスト養成講座



伝えるために書く

「地域のオモシロイ」  
を  
みんなで発信!

### 伝えるために書く

ニュースは「自分ごと」から始まり記事にしていく。しかし、自分ごとであると同時に、「地域ごと」でなくてはいけない。なぜなら、記事には「読者」がいるからだ。自分だけの文章になってしまっただけでは、読者には伝わらない。  
「自分ごと」と「地域ごと」、それらを読者に「伝えるために書く」のが記事である。



### 取材とは何か

記事の内容に求められるのは正確さ。事実と異なれば、地域住民や関係者を傷つけかねない。  
正確な記事を書くために必要なことは裏付けとなる情報・材料集め。これが「取材」である。

- ① 情報は6つ(5W1H)。
- ② いつ(When)
- ③ どこで(Where)
- ④ 誰が(Who)
- ⑤ 何を(What)
- ⑥ なぜ(Why)
- ⑦ どのように(How)



### 取材をしよう

第2回のゲストはケーブルテレビでの勤務経験を活かしローカルジャーナリストとして活躍する永見陽平さん。取材のコツや楽しさを学んだ。  
永見さんの取材・発信をする醍醐味は次の3つ。  
・ 会いたかった人に「会える」  
・ 想いを発信して「スッキリする」  
・ 出会いを通して「繋がれる」  
自分のワクワク感を大事に楽しんでいる様子が伝わってきた。

### 参加者の声

最初は「モノ」に対するテーマだったが、講座で他の人と話していくうちに、「ヒト」へと変化していった。それこそが自分がワクワクするテーマだと気付けてよかった。

色んな人の意見や話を聞いて、自分の考えとは違う部分を楽しめた。

